

令和4年度
国際資源学部
総合型選抜Ⅰ
学生募集要項

新型コロナウイルスの感染状況によっては、募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施する場合がありますので、秋田大学のウェブサイトで定期的に最新の情報を確認してください。

項目	月 日
出願書類等受付期間	令和3年9月1日(水)～9月7日(火)必着
選 抜 期 日	令和3年10月2日(土)
合 格 発 表 日	令和3年11月1日(月)

秋 田 大 学

入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にとっては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。
- 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うために、総合型選抜の合格および入学手続等に関する個人情報（氏名、高等学校等コードおよび大学入学共通テストの受験番号）を、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に通知します。

目 次

国際資源学部および各コースの概要と入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 国際資源学部の理念と特徴	1
2. 世界を舞台にする資源スペシャリストの養成	1
3. 国際社会への貢献	1
4. 国際資源学部の教育目標	1
5. 各コースの概要	2
6. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2

総合型選抜 I について

1. 募集コースおよび募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 出願手続	6
4. 選抜方法	7
5. 合格者の発表	8
6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	8
7. 入学手続	8
8. 個人の試験成績の開示	9
9. その他	9
10. 問い合わせ先	9

検定料の免除について	10
------------	----

秋田大学学生寮について	10
-------------	----

「個別の入学資格審査」について	11
-----------------	----

添付書類等

1. 入学志願票
2. 受験票・写真票
3. 自己アピール書
4. 検定料振替払込受付証明書貼付台紙
5. 払込取扱票
6. 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書
7. あて名票
8. 出願用封筒
9. 受験票等送付用封筒

国際資源学部および各コースの概要と入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

1. 国際資源学部の理念と特徴

レアメタルなどの金属資源や石油・天然ガスをはじめとしたエネルギー資源などを取り巻く国際的、あるいは地球規模での資源問題を解決するために、近年、高度な能力と資源分野の特殊性を熟知した専門人材の養成が求められています。国際資源学部は、国内外の資源フィールドおよび関連研究機関との連携から独自の教育カリキュラムを構築し、資源学に関する幅広い教育研究活動を行っています。また、資源の探査・開発を行う際に立ちはだかる研究課題を抽出し、その解決のための取り組みを行っています。具体的には、資源を取り巻く経済、国際情勢などの資源政策分野を対象とした文系の「資源政策コース」と、地球史解読による資源形成メカニズムの解明から、資源探査、開発・生産、リサイクルおよび環境保全までを対象とする理工系分野の「資源地球科学コース」と「資源開発環境コース」を設置し、これら3コースを横断する形で文理融合教育を行っています。資源問題を解決するための最先端研究のみならず、世界をフィールドにした実践教育を取り入れることで国際的に活躍できる資源スペシャリストを養成することが国際資源学部の目標・理念といえます。

2. 世界を舞台に活躍する資源スペシャリストの養成

国際資源学部では、英語教育特別プログラム（集中大学英语）を1年～2年次前半までに実施し、国際的な舞台で必要となる基礎的な英語力を修得します。これにより、英語で行われる2年次以降の専門教育科目に備えます。専門教育科目は、多彩な講義・実験科目等によって構成され、最先端の資源学教育・研究を理解するための土台を作ることになります。3年次後半には全学生が海外資源フィールドワークに赴き、資源学の最前線を体験しつつ、最新の知識・技術に触れます。そこで経験する様々な事象や課題は、4年次の卒業研究を進める際の知的基盤を作り上げる上で重要な役割を果たします。これら一連の専門知識を活かしながら、世界を舞台に活躍する資源スペシャリストを養成します。

3. 国際社会への貢献

国際資源学部では、資源学を通して国際社会に貢献することを目標にしています。近年の国際社会は複雑化し、資源ナショナリズムの台頭や資源確保に必要とされる国際性、創造性を兼ね備えた人材の育成が求められています。この課題を解決するために、国内外の関連機関と強固なネットワークを構築し、最新の研究に取り組むことで、資源学におけるナショナルセンターとしての機能・役割を果たします。これにより、国際的に活躍するスペシャリストを養成し、資源分野の世界的教育研究機関として国際社会に貢献します。

4. 国際資源学部の教育目標

1. 資源学を通じて社会に貢献し、科学技術の発展に寄与する人材の育成
2. 国際社会で通用する教育カリキュラムの提供と資源分野の特徴を理解した専門人材の育成
3. 地球スケールのダイナミズムを俯瞰し、科学的な好奇心をもった資源技術者・研究者の育成
4. 資源国の背景を理解し、倫理観と社会的使命感、問題解決能力を身につけた人材の育成
5. 教育・研究環境の整備と学生支援
6. 研究成果の社会への還元と国際貢献

5. 各コースの概要

【資源政策コース】

世界の資源情勢を正確に分析・考察する力や資源国との交渉力を身につけた資源戦略を担う人材を養成します。

【資源地球科学コース】

世界を対象にした資源分布の予測と、新たな地球資源の可能性を探究する地球科学分野の技術者・研究者を養成します。

【資源開発環境コース】

限りある地球資源を持続的かつ有効に活用するため、地球環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の形成に寄与できる技術者・研究者を養成します。

6. 入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

【秋田大学の入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）】

秋田大学では、21世紀の日本ならびに国際社会において、指導的な役割を担うことができる人材の育成を目指しています。このため秋田大学は、学生が幅広い教養と深い専門性、そして高い倫理性に裏付けられた豊かな人間力を涵養できることを全学の教育目標としています。

このような目標のもと、次のような資質や意欲をもった人を、入学者として求めています。

1. 学問への探求心を持ち、その発展に主体性と創造性を持って尽くしたい人
2. 学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的な知識・技能と、それらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力を持った人
3. 地域社会や国際社会の諸課題を理解し、その解決に寄与したい人

【国際資源学部の入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）】

◆育てる人間像

国際資源学部では、地球規模となった資源問題の解決を目指し、豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、新たな資源探査・開発技術や環境保全技術と資源・エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を育成します。

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境問題への強い関心を持ち、その解決策をねばり強く、柔軟に思考・探求できる人
2. 自然科学と人文社会科学の両面から資源問題を総合的に捉え、実務家、技術者、研究者として社会の発展に貢献したいという意欲を持ち、新たな課題へ立ち向かうチャレンジ精神のある人
3. 国際的に通用する論理的思考力と判断力および外国語による表現力とコミュニケーション能力を身につけ、グローバルなフィールドで活躍しようとする人

《資源政策コース》

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち、持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2. 国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3. 多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語－多様な価値観の理解に求められるコミュニケーション能力，表現力，読解力
- 英語－国際社会で活躍するために基礎となるコミュニケーション能力，表現力，読解力
- 数学・理科－自然科学に対する基礎学力と論理的思考能力
- 地理・歴史－世界の文化・歴史・産業に対する関心の高さと理解力

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ》

十分な基礎学力を持ち，資源問題に関わる国際社会の動向に対する興味と強い学習意欲を有し，持続可能な社会の実現に強い関心を持つ人を求めます。

そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入学者選抜方法	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体性・多様性・協働性
面接	○	○	○
調査書			○
自己アピール書	○	○	○
小論文	○	○	

《資源地球科学コース》

●求める人物像

1. 自然現象への好奇心が強く，地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2. 物事を深く洞察し，野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3. 将来，地下資源探査・開発に関わる技術者として，または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語－文章を読む読解力，論理的な思考力，自分の考えを表現できる表現力
- 英語－英語の読解力と基礎的なコミュニケーション能力
- 数学－数学の基本的な概念の理解と計算力
- 地理・歴史－国内外で活躍するために必要な基本的な知識，教養
- 理科－物理，化学，生物，または地学分野の内容の理解と科学的探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ》

十分な基礎学力を持ち，地球の成り立ち，地質や岩石などの地球科学に対する強い知的好奇心と学習意欲を有し，地球科学分野の貢献による資源の探索・供給に関心を持つ人を求めます。

そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入学者選抜方法	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体性・多様性・協働性
面接	○	○	○
調査書			○
自己アピール書	○	○	○
小論文	○	○	

《資源開発環境コース》

●求める人物像

1. 資源の探査，資源・エネルギーの生産手法，リサイクルなどに強い興味を持つ人
2. 多様な観点で物事を観察し，新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
3. 自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し，環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語－国際社会で活躍するための基礎となるコミュニケーション能力，読解力，思考力，表現力

数 学－「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」における内容の理解と数学的応用力，論理的な思考力

地歴・公民－地理歴史，公民における基礎知識と世界的な視点に基づく地理，歴史，文化・制度，政治・経済などを通じた考察力

理 科－物理，化学，生物または地学分野における内容の理解と自然科学を理解するための知識の活用と思考力

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲，資源を通じて地域や世界の持続可能な発展に強い関心を持つ人を求めます。

そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入学者選抜方法	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体性・多様性・協働性
面接	○	○	○
調査書			○
自己アピール書	○	○	○
小論文	○	○	

総合型選抜 I について

1. 募集コースおよび募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員
国際資源学科	資源政策コース	5名
	資源地球科学コース	5名
	資源開発環境コース	8名

2. 出願資格

総合型選抜 I に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者として、また、合格した場合、入学を確約することができる者として、

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条（第6号を除く）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ 文部科学大臣の指定した者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）で18歳に達したもの

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

③のカによる出願は、本学において個別の入学資格審査を要するので、11ページを参照の上、申請してください。

3. 出願手続

(1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 志 願 票	<p>本学部所定の志願票に下記により記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志望コース：志望するコース名にチェックを記入してください。 ・氏名（ふりがな）：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。 ・生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。 ・出 願 資 格：出願資格について記入してください。 ・連 絡 先：本人および保護者の郵便番号、住所、電話番号を記入してください。なお、電話が呼び出しとなる場合は、その氏名等を記入してください。保護者の連絡先が本人と同じ場合は「同上」と記入してもかまいません。 ・履 歴：大学入学、退学・就職・自宅勉学等を必ず記入してください。ただし、高校卒業見込者を除きます。
② 受験票・写真票	<p>本学部所定の用紙に所要事項を記入し、写真票には、写真（4cm×3cmの大きさで、正面、上半身、無帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。</p>
③ 自己アピール書	<p>本学部所定の様式に自己アピールできることを400字以内に自筆で記入してください。A4判（両面可）1枚の参考資料の添付は認めますが、CD等の添付は認めません。なお、必要であれば、参考資料に写真を貼り付けてもかまいません。</p> <p>成果獲得に関わる記入の場合は、成果獲得に向けた努力のプロセスなどについて記入してください。成果獲得に関わらない記入の場合は、このかぎりではありません。</p>
④ 調 査 書	<p>在学または出身学校長が文部科学省で定めた様式により作成し、厳封したもの。高等学校卒業程度認定試験に合格した者および大学入学資格検定に合格した者は、合格成績証明書を調査書に代えることができます。</p> <p>指導要録の保存期間の経過および廃校・被災その他の事情により、調査書が得られない場合は、卒業証明書、単位取得証明書、成績通信簿の写し（本人が保管している場合）その他志願者が提出できる書類をもってこれに代えます。</p> <p>〈調査書を発行する高等学校等へ〉 調査書の記載等については、次のとおりお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①調査書様式裏面「7. 指導上参考となる諸事項」については、簡潔に記載してください。事項や記載量の多寡は評価しません。 ②「8. 備考」欄については、記載を求めません。記載されている場合でも評価の対象としません。 ③様式裏面の記載はA4判2枚以内とします。 ④調査書がA4判2枚以上となった場合は、2枚目の調査書の上に受験者氏名を記載してください。なるべくホチキスなどで留めることはしないようにしてください。 ⑤過年度卒業生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。
⑤ 検定料・検定料振込払込受付証明書貼付台紙	<p>検定料は17,000円です。</p> <p>本学部所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として令和3年8月19日(木)以降出願前までゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。(振込手数料は負担願います) ※ATM（現金自動預け払い機）は使用しないでください。</p> <p>振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には、氏名、志望コースを記入してください。</p> <p>出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。</p> <p>ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、原則として令和3年9月8日（水）から9月14日（火）までの間（土・日・祝日は除きます）に、秋田大学経理・調達課出納担当（TEL 018-889-2234）に申し出てください。</p>
⑥ 受験票等送付用封筒	<p>本学部所定の封筒に、住所、氏名を明記し、374円分の切手を貼ってください。</p>
⑦ あ て 名 票	<p>本学部所定の用紙に、所要事項を記入してください。</p>

(2) 出願書類等受付期間 令和3年9月1日(水)～9月7日(火)(必着)

(3) 出願方法

出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として「速達簡易書留」により期日までに郵送してください。

(4) 出願にあたっての留意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合には、これを受理しません。
- ② 本学が受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
- ③ 出願後、出願書類等の「受信場所」に変更があった場合は速やかに連絡してください。
- ④ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

4. 選抜方法

小論文及び面接の結果を総合的に評価して選抜を行います。

(1) 選抜期日 令和3年10月2日(土) 【小論文】9時30分～11時00分 【面接】13時00分～18時00分

(2) 選抜会場 秋田大学手形キャンパス(秋田市手形学園町1番1号)

小論文会場および面接会場・時間等は受験票送付時に通知します。

受験票が9月29日(水)まで手元に届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。

(3) 評価の観点・基準等

コース	実施教科等	
	教科等	採点・評価の観点, 基準等
資源政策コース	小論文	日本語および英語の文章を素材にしていくつかの設問をします。 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。
	面接	いくつかの質問を英語で行います。 いくつかの質問には英語で答えてもらいます。 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。
資源地球科学コース	小論文	「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。
	面接	いくつかの質問を英語で行います。 いくつかの質問には英語で答えてもらいます。 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。
資源開発環境コース	小論文	「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。
	面接	いくつかの質問には英語で答えてもらいます。 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

(4) 受験上の注意事項

- ① 受験票を忘れずに持参してください。受付を行う際には係員に提示してください。また、試験時間中は受験票を机の上に置いてください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後10分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ③ 試験時間中は、受験票、黒鉛筆（H, F, HBに限る）、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類を除く）、定規、時計（辞書や電卓等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬以外のものは、机の上に置くことはできません。
- ④ 携帯電話等の電子機器類を持参した場合は、アラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中、身につけていたり手に持っていた場合は、不正行為となることがあります。
- ⑤ 不正行為を行った場合は以後の受験は認められません。
- ⑥ 試験時間中はすべて試験監督者の指示に従ってください。

5. 合格者の発表

令和3年11月1日（月）15時（予定）

秋田大学ウェブサイトには合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書および入学関係書類等を送付します。

ウェブサイトへの掲載は、情報サービスの一環として行っておりますので、必ず合格通知書で確認してください。

注) 電話による問い合わせには一切応じません。

6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、本学部所定の用紙に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、令和3年8月18日（水）までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨本学入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課 電話：018-889-3178 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

7. 入学手続

合格者には入学手続書類を郵送しますので、令和3年11月11日（木）～11月17日（水）（必着）までに、入学金を納付するとともに、入学手続書類を郵送により提出してください。

納付金

- ① 入学金 282,000円（予定額）
- ② 授業料 前期分 267,900円（年額535,800円）（予定額）

- 注) 1. 上記納付金は予定額であり、入学前に入学金が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学金が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。授業料は入学後に納入してください。
2. 納付した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

8. 個人の試験成績の開示

受験者の試験順位を不合格者に限り、本人の申し出によって「A, B, C」のランク区分により開示しますので、下記の申込期間内にお申し込みください。

ただし、不合格者が3名未満の場合は開示しません。

- (1) 申込期間 令和4年5月1日(日)～令和4年6月30日(木)
- (2) 申込窓口 申込方法等詳細については下記にお問い合わせください。

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 電話 018-889-3178

9. その他

- ① 総合型選抜Iによる選抜方法は国際資源学部が求める人物像に適した資質を問う選抜なので、合格者数は募集人員に満たない場合があります。その場合の欠員は国際資源学部が実施する今後の選抜試験の募集人員で充足します。
- ② 入学手続完了者は、所定の手続により入学を辞退した場合を除き本学他学部または他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。
- ③ 入学手続完了者には、在学中の高等学校等と本学教員が相談したうえで、入学前教育を行います。連絡があれば指示に従ってください。入学前教育を行う際、テキスト代金等に係る諸費用の負担をお願いする場合があります。
- ④ 入学手続完了者には、大学入学共通テストの受験を推奨します。(可否とは関係ありません。)詳細は、追って通知いたします。
- ⑤ 入学金・授業料は高等教育の修学支援新制度に基づいて免除される制度があります。(高等教育の修学支援新制度については、文部科学省および日本学生支援機構のHPを参照してください。)また、経済的理由等により期限までに入学金の納付が困難であると認められる場合には、選考の上、猶予が認められる制度があります。(詳細は入学手続関係書類でお知らせします。)

10. 問い合わせ先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 電話 018-889-3178

E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

検定料の免除について

自然災害により被害に遭われた方々の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、検定料免除の特別措置を講じます。

検定料の免除を希望される方は、出願前に必ず本学入試課までご連絡ください。

(1) 対象者

自然災害により災害救助法の適用を受けた地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- ① 学資負担者が所有する自宅家屋の全壊、大規模半壊、半壊又は流失の被害を受けた方
- ② 学資負担者が災害により死亡または行方不明の方
- ③ 学資負担者の居住地が東日本大震災の福島第一原子力発電所事故により、警戒区域または計画的避難区域等に指定された方

(2) 申請の方法

事前に本学入試課に連絡し、該当すると判断された方は、所定の申請書類を(4)の申請期限までに提出してください。提出の際には、封筒の表に「検定料免除申請書在中」と朱書きし、返信用封筒(長型3号、84円切手貼付、住所・氏名記入)を同封してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「検定料」を払い込まないでください。

(3) 申請書類及び証明書

- ① 申請書類
 - ・「検定料免除申請書」(別紙様式)(本学ホームページ「入試情報」内にある「検定料免除」からダウンロードできます。)
- ② 証明書
 - ・「り災証明書」(上記(1)の①に該当する方)
 - ・「死亡または行方不明を証明する書類」(上記(1)の②に該当する方)
 - ・「被災証明書」(上記(1)の③に該当する方)

(4) 申請期限 令和3年8月24日(火)

(5) 許可または不許可の通知

- ① 許可された方には、出願受付期間前までに「決定通知書」を送付いたします。願書の提出に当たっては検定料を納付せず、送付された「決定通知書」を「検定料振替払込受付証明書貼付台紙」に貼って提出してください。
- ② 不許可の方には、出願受付期間前までに別途通知いたします。願書の提出に当たっては、検定料を納付の上必要な手続をしてください。
検定料の納付がない方の当該入学者選抜試験に係る出願は受理しません。

(6) その他

諸事情により、申請期限までに申請書類および証明書が提出できない場合は、一旦検定料を納付した上で、願書を提出してください。

*検定料免除に関する問い合わせ先：秋田大学入試課 電話 018-889-2256

秋田大学学生寮について

入学案内の請求期間、申し込み期間等に関する詳細は大学ホームページ(<https://www.akita-u.ac.jp>)でお知らせします。

*学生寮に関する問い合わせ先：秋田大学学生支援・就職課 電話 018-889-2240

「個別の入学資格審査」について

令和4年度秋田大学国際資源学部総合型選抜Ⅰ

学校教育法施行規則第150条第7号による「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの」として本学へ出願を希望する者は、事前に本学の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願できることになります。

入学資格審査は、次のとおり実施します。

1) 個別の入学資格審査を申請できる者

本学へ入学する意志があり、令和4年3月31日までに18歳に達し、本学の指定する書類を提出できる者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校に対応する学校の課程（当該課程を合わせて学校教育における12年の課程を有していることが認められるもの）に在学した者または在学している者
- (2) 上記(1)以外の者で、各種の学校等での学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む）が、高等学校卒業と同等以上であると客観的に確認できる者

2) 申請受付期限

令和3年8月10日（火）（必着）

3) 申請書類

審査を希望する者は、秋田大学入学資格認定申請書〔別紙様式〕に次の各号の区分毎に掲げる書類を添えて、本学に申請してください。

(1) 上記1)の(1)による申請者

- ア 修業年限および学年・学期に関する事項が記載された書類
- イ 課程の組織に関する事項が記載された書類
- ウ 教育課程および授業日数に関する事項が記載された書類
- エ 学習の評価および教育課程修了の認定に関する事項が記載された書類
- オ 入学および卒業に関する事項が記載された書類
- カ 当該申請者に係る教科・科目の履修状況の証明書

(2) 上記1)の(2)による申請者

- ア 学校教育における9年の課程修了後の公的な教育施設における学習歴を証明する書類
- イ 社会での実務経験等（資格取得を含む）が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

4) 審査方法

申請書類により審査を行います。申請書類の不備や疑義等がある場合は、期間を定めて当該申請書類の補正を求め、それが満たされないときは審査を拒否することがあります。

5) 審査基準

- (1) 上記1)の(1)による申請者については、当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であることを審査します。
- (2) 上記1)の(2)による申請者は、学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む）について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

6) 認定

審査の結果、入学資格を認める場合は、申請者に対して秋田大学入学資格認定書を交付します。
入学資格を認めない場合は、申請者に対してその理由を付して通知します。

7) 認定の取消

申請者が高等学校に対応する学校の課程の修了見込みまたは学習歴もしくは実務経験等の終了見込みで申請した場合であって、その要件が満たされない場合は、入学資格認定を取り消します。

8) 申請書類の提出方法および提出先・照会先

申請書類を郵送する場合は、簡易書留郵便とし封筒のおもて面に「入学資格認定申請書在中」と朱書きしてください。
また、返信用封筒（長形3号、簡易書留速達料金694円分の切手を貼付し、あて先を明記したもの）を同封してください。
（持参の場合も返信用封筒を提出してください。）
なお、審査を申請するに当たっては、事前に入試課に照会願います。

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
秋田大学入試課
（電話 018-889-3178）

[別紙様式 A4判]

秋田大学入学資格認定申請書

令和 年 月 日

秋田大学国際資源学部長 殿

(ふりがな)
申請者氏名 (男・女)
(自署)
生年月日 年 月 日 生

私は、令和4年度国際資源学部総合型選抜Ⅰを受験したいので、必要書類を添えて入学資格の認定を申請します。

記

出願希望コース： _____

申請者住所：〒 _____

電話番号： _____ () _____